



室場小学校区コミュニティ推進協議会が40周年を迎えられました。昭和58年に西尾市で最初に立ち上がり、盆踊りをはじめ、様々な活動を行う中で室場小校区の絆をどこよりも深められてきました。多くのコミュニティ活動が形骸化しつつある中で、絶えることなく40年続いていることはこの校区に

関わっている私たちにとっても誇りです。

そして、今回その記念行事に本校の**オーケストラ部**が招待されました。なんとという光栄でしょう。中学校のことを気に留めていただいていることがなによりうれしいです。

演奏会は終始和やかな雰囲気に含まれていました。最初に演奏した東部中学校の校歌では、「俺は知らんなあ」という笑い声が演奏後にありました。確かに室場小出身でも花蔵寺の方々は西尾中出身です。そのつぶやきがかえって場を和ませました。

クラシックの演奏を聞きながら音楽のすばらしさに浸るとともに、曲の合間の部員のセリフにもユーモアがあり、ジブリの演奏では、うんうんと頷いてみえる方もいらっしゃいました。「次の演奏は『いきものがたり』の曲です。なんという曲でしょう」と言ったまま、曲名を言わずに演奏に入り、結局なんという曲だったのか、わからないながらも、笑いを生んだ場面もありました。ちなみに演奏した曲は「ありがとう」です。

「ふるさと」や「ほたるこい」なども編曲して演奏しました。用意した曲の演奏が全て終わり、司会者の方が「オーケストラ部に大きな拍手を」と言われたときに、どこからともなく「**アンコール**」の**声**が。手拍子もついて波のように「アンコール」が止まらなくなりました。

想定外のこと。練習をしてこなかったものの入学式で演奏した「ファイナルファンタジー」の曲を演奏して締めくくりました。大きな拍手が会場に響き渡りました。来賓としてみえた西尾市長さんからもオーケストラ部に感謝のメッセージをいただきました。

地域貢献の第一歩。**あっ、青空が広がった**。心の中でぱっと広がりました。